

日本共産党 府中市議団 24年夏号

活動報告ニュース



竹内 ゆう子 からさわ 地平
090-8519-7017 090-3834-7740

ご意見・ご要望お待ちしております FAX:042-364-6590 Mail:shigidan@jcp-fuchu.com

「けやき並木を守り育てる条例」が新設 禁止行為の設定は市民に分断生む可能性

第2回定例会では、馬場大門のけやき並木が特別天然記念物に指定されて100年を契機として「けやき並木を守り育てる条例」が新設しました。しかし、その中身は樹木の保全だけでなく市民に対して「禁止行為」を課す内容が中心です。



文教委員会の質疑では、けやき並木でお酒を飲んで騒ぐなどの「迷惑行為」への対応として、条例を定める目的であることが答弁されました。ゴミのポイ捨てや、迷惑行為への対応は現行法・条例で可能です。「長時間にほしほしに利用する」などの曖昧な規定は、拡大解釈や恣意的な運用のおそれがあると、傍聴した市民からも不安の声があがりました。

けやき並木は誰もが自由につどえる場所であるべきです。自由の侵害と市民の分断を生みかねない条例の創設に日本共産党は反対しました。条例が施行される12月までに運用ガイドラインが作成される予定であり、引き続き注視していきます。

（禁止行為） **条例より抜粋**
第7条 何人も、けやき並木において、法令に定めがあるもののほか、正当な理由なく次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 石積みの中に立ち入ること。
- (2) 火気を使用すること。
- (3) けやき並木の全部又は一部を独占して長時間にわたりほしほしに利用することにより、他人のけやき並木の利用を妨げること。
- (4) 府中市まちの環境美化条例（平成15年12月府中市条例第26号）第7条及び第9条第2項に規定する行為をすること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、けやき並木において他人に迷惑を及ぼす行為又は危害を及ぼすおそれのある行為をすること。

※(4)はゴミや吸い殻のポイ捨て、喫煙禁止区域での路上喫煙などを示しています

裏金事件の徹底検証と企業団体献金禁止をもとめる意見書 自民・公明・維新以外の賛成で可決。

自民党による裏金事件に対して怒りの声が寄せられています。日本共産党市議団は「自民党による裏金問題の徹底説明と金権腐敗政治の一掃を求める意見書」を市議会に提出。真相究明に背を向け、無反省な態度を取り続ける自民党を厳しく批判し、パーティ券購入を含む企業団体献金の全面禁止を求めました。

裏金事件に対する自民党と公明党の無反省さが意見書に対する態度でも明らかになりました。それでも1票差で意見書が可決されたことは、今後の議会での共同につながる重要なことです。

自民党の裏金事件
徹底究明せよ

実効性のある
再発防止策の確立



企業・団体献金
パーティ券含めて禁止

意見書全文は
こちらから



賛成 15人	反対 14人
市民フォ6人、自由クラブ4人 共産党2人、ネット1人、 れいわ1人、無所属1人	市議会（自民党）8人 公明府中5人、維新の会1人

「ちゅうバス」18台→14台の減便が検討 「移動の自由」確保するため現路線の維持・充実を



「ちゅうバス」再編を含む地域公共交通の再編を府中市は進めています。8月5日におこなわれた「地域公共交通協議会」では、ちゅうバス事業を受託している「京王バス」より府中市宛てに、運転手の不足から現行18台のちゅうバスを14台に減便を求める旨の申し入れがあったことが報告されました。

地域意見交換会で示された主な提案

- ちゅうバスの運行台数を運行18台から17台に。
- 府中駅以外の駅に接続するバス路線の検討。
- バス運賃について検討。
- バス以外の方法で移動できる公共交通を検討。

詳しくは市のHPを
ご覧ください。



地域意見交換会で示された前提が変わる可能性 あらためて市民の声を聞く場を

今年4月に各文化センターで「バス路線の再編に関する地域意見交換会」がおこなわれ、再編案への考え方が示されました。しかし、当時の案はちゅうバス17台運行を前提にしており、見通しが変わる可能性があります。

市はルート維持するための方策を検討していますが、前提条件が変わったことで、あらためて市民の意見を聞く必要があるのではないのでしょうか。

根本解決に従事者の待遇改善が不可欠 国は企業任せにせず、改善措置を

運転手の不足からバス路線を縮小する事例は、各地で相次いでいます。他業種と比べて賃金が低いことが運転手不測の根底にあります。日本共産党は政府と東京都に対して、地域公共交通を守るため労働者確保と待遇改善に向けた支援の実施を要望しています。

第2回定例会 一般質問より

都の制度を活用し市独自のPFAS調査を 竹内 ゆう子



PFAS(有機フッ素化合物)は府中市内の井戸からも高い値が検出されており、東京都は自治体の独自調査に対する補助を実施しています。しかし府中市はその補助を把握しながらPFASに関する独自検査はおこなわないとしています。昨年実施した公共井戸調査についても、継続調査は行わないとの答弁。調査にかかる費用は約30万円ほどです。

市は風評被害の懸念を理由をあげますが、調布市は民間が所有する井戸85カ所のうち要望があった56カ所の井戸を調査しています。要望を把握し、調査により安心して利用できる環境をつくるべきと求めました。

東京都が実施したPFAS地下水調査

- 府中市① **260ng/l** (R4年調査)
- 府中市② **120ng/l** (R5年調査)
- 府中市③ **99ng/l** (R5年調査)
- 府中市④ **8.1ng/l** (R3年調査)

■ は国の暫定目標値50ng/lを上回った結果
東京都水道局の調査結果より作成



他の井戸も市が調査を!

今年度より東京都から
3分の2予算補助を実施。

市内の公営駐車場6カ所でPFOS含む泡消火剤が確認 PFOSを含まない消火剤に交換を

駐車場からPFOSを含んだ泡消火剤が流出する事故が都内で発生したことを受け、都は民間施設でPFOSの含む泡消火剤を交換する際の補助金を実施しています。

府中市内では6カ所の公共駐車場でPFOSを含む泡消火剤が確認されています。万が一の事故を避けるため、民間に先駆けて交換すべきだといたしました。

質問 都の制度を活用して調査を実施する考えは?

答弁 都の制度は把握しているが、現時点でPFASに関する独自調査を実施する予定はない。

質問 なぜ市独自で調査を実施しないのか?

答弁 東京都が調査をおこなっている。令和5年度に市が実施した調査で暫定目標値を超える値が検出されなかった。風評被害の懸念もある。

有機フッ素化合物 (PFAS) とは?

泡消火剤などに使用されてきた物質。自然界で分解されず人体や環境に残る性質があり、発がん性や出生時の低体重の増加など健康被害が指摘されています。多摩地域で検出が続いており対策が求められます。



からさわ 地平 公園トイレ改修を早める計画が必要

府中市内には憩いの場となる公園がたくさんある一方で、和式トイレしかない公園も数多く残っています。子どもたちから高齢者まで安心して使える公園めざして、トイレ改修を早める新たな計画を作ることを求めました。

豊島区では2018年から区内の公園トイレ133カ所のうち85カ所を3年計画で改修する「としまパブリックトイレプロジェクト」を進めました。計画を進めた職員は「女性の目線でまちを見つめ直し、子どもや高齢者、障がい者、外国人などすべての人にとっての住みやすさ、働きやすさとは何か、再確認する」なかでトイレ改修の必要性を位置づけたと述べています。これは府中市にも共通する視点です。

こうした事例も紹介し、他自治体の事例に学んでトイレ改修を短期間で進める進める計画と予算措置を要望しました。



改修完了まで
20年以上!?



市内 公園トイレ100カ所のうち

洋式トイレ 20カ所	不具合があるトイレ 7カ所 (水が流れない等)
他は全て和式トイレ	2024年6月現在

質問 改修が必要だと考えているトイレは?

答弁 街区公園など**66カ所**ではバリアフリー化が図られておらず改修の必要がある

質問 速やか改修する計画が必要では?

答弁 インフラマネジメント計画等を踏まえ、**年3カ所から4カ所**の工事を想定している。

陳情審議より

誰もが使いやすい駐輪場の整備 けやき並木の「ちょこ・りん・スポット」復活を

2019年まで府中駅前けやき並木には「ちょこ・りん・スポット」が設置されていました。駅周辺の駐輪場が整備が進んできましたが、店舗に近く自転車が平置きすることができた同施設の設置を求める声も根強く寄せられています。

第2回定例会では甲州街道北側に「ちょこ・りん・スポット」復活を求める陳情が提出されました。同施設が存在した2019年と比べて、子ども用シートを搭載した電動自転車のような車重が重い自転車の普及や、高齢の買い物客が増えていることもあり、平置き駐輪場の整備が求められています。バリアフリーや経済活性化の観点からも、同施設の復活を進めるべきであると、日本共産党は陳情に賛成しましたが、自民党市政会、公明府中、市民フォーラムなどの反対で不採択になりました。

高齢者には地下まで
自転車を押すのが大変



車体が重い電動自転車は
駐輪場に停めるのが大変



ちょこりんスポット
2019年2月撮影

陳情者の要望から